

どないしよう

声：管理職(AIが作成)

ああ、もうほんとにね、愚痴を言い出したらキリがないんだけど、ちょっと聞いてくれる？現場の管理者って、ほんと板挟みの連続でさ。上からは「効率化しろ」「人件費抑えろ」「離職率下げろ」って言われるし、下からは「人が足りない」「休みが取れない」って不満が噴き出してくるし、もうどっち向いて仕事すればいいのかわからなくなるよ。

人手不足なんて、もう慢性化してるのに、求人出しても全然応募来ないし、来たと思ったら未経験で、現場に入れるまでに時間も手間もかかる。で、やっと思つたと思つたら、数ヶ月で辞めちゃう。理由はだいたい「思ってたより大変だった」「体力的にきつい」「人間関係が…」って。いや、分かるよ？分かるけどさ、じゃあ誰が残るの？って話よ。

しかも、現場の職員たちも限界ギリギリで働いてるから、ちょっとしたことでピリピリしてるし、ミスが起きれば「管理が悪い」って言われるし、シフト調整なんてもうパズルゲームよ。誰かが体調崩したら、代わりがないから自分が現場に入るしかない。管理者って何？って思うよね。デスクワークなんて夢のまた夢。書類仕事は山積み、行政対応もある、でも現場も回さなきゃいけない。

それに、介護って「やりがいがある仕事」って言われるけど、やりがいだけじゃ生活できないんだよね。職員の給料上げたいけど、予算は限られてるし、加算取るための書類作成も地獄みたいに細かいし、ミスったら返還だし。もう、なんでこんなに制度が複雑なの？って毎回思う。

この先、どんどん働き世代も減ってくるって聞かし・・・

…はあ、ちょっとスッカリしたかも。

でも、あれです。それでも、もっと現場を働きやすくしたい！

人が集まる介護現場へ

～業務の生産性向上と情報発信のススメ～

1 情報提供 2040年を見据えた介護人材確保の考え方

2 実践発表

- ・豊岡市社会福祉協議会 在宅福祉課 課長 貴田 由香 氏
【通所介護で取り組むノーリフティングケア】
- ・養父市社会福祉協議会障害者相談支援事業所 管理者 佐々木 千代里 氏
【訪問介護×ICTによる業務負担の軽減】
- ・社会福祉法人関寿会 特別養護老人ホームはちぶせの里 生活相談員 西谷 文吾 氏
【もっと身近に！SNSで変わる介護施設と地域の関係（仮）】

日時・場所：令和7年9月1日（月）13：30～15：30（開場13：00）但馬長寿の郷郷ホール

対象・参加人数：介護現場管理者・職員、人材確保に関わる人 50名（参加費無料）

裏面申込用紙で申し込む（8月22日締め切り）

【問い合わせ先】

但馬長寿の郷 地域ケア課 永田 宮本 高品

TEL079-662-8456

なんだいや

声：介護職員（AIが作成）

ああ、もうほんとにさ、現場の介護職ってなんでこんなにしんどいの？って毎日思うよ。朝から晩までバタバタして、各種介助、ナースコール対応、記録書いて、レクの準備して、家族対応して…って、やること多すぎ！しかもそれを「当たり前」みたいな顔して求められるの、ほんとキツイ。人が足りないのに、シフトはギリギリ。誰かが休んだら「代わりお願いできない？」って、もう何回目よ？って感じ。自分の体調悪くても「誰もいないから」って無理して出勤して、結局悪化して…って、これ何のために働いてるのか分からなくなるよ。休みの日も電話鳴るたびにビクッとするし、心が休まらない。

あと、上の人たち、現場のこと分かってる？って思うこと多すぎ。「効率化しろ」「記録は丁寧に」「事故はゼロで」って、理想ばかり言うてくるけど、現場の現実見てよ！こっちは一人で何人も見てるんだよ？一人転倒対応してる間に、別の人がナースコール連打してるとか、日常茶飯事なんだよ？それでも、利用者さんの「ありがとう」とか、笑顔とか、そういう瞬間に救われることもあるけどさ…それだけじゃ続けられないよ。もっと人増やして、もっと現場の声を聞いてほしい。じゃないと、ほんとにみんな辞めちゃうよ。

これから、どんどん働き世代も減ってくるって聞くし・・・

…はあ、ごめんつい長くなっちゃった。でも、こうやって吐き出さないとやってられないよね。

それでも、その、あれです。なんか…もっと良くしたいよね！

人が集まる介護現場へ

～業務の生産性向上と情報発信のススメ～

1 情報提供 2040年を見据えた介護人材確保の考え方

2 実践発表

- ・豊岡市社会福祉協議会 在宅福祉課 課長 貴田 由香 氏
【通所介護で取り組むノーリフティングケア】
- ・養父市社会福祉協議会障害者相談支援事業所 管理者 佐々木 千代里 氏
【訪問介護×ICTによる業務負担の軽減】
- ・社会福祉法人関寿会 特別養護老人ホームはちぶせの里 生活相談員 西谷 文吾 氏
【もっと身近に！SNSで変わる介護施設と地域の関係（仮）】

日時・場所：令和7年9月1日（月）13：30～15：30（開場13：00）但馬長寿の郷 郷ホール

対象・参加人数：介護現場管理者・職員、人材確保に関わる人 50名（参加費無料）

裏面申込用紙で申し込む（8月22日締め切り）

【問い合わせ先】

但馬長寿の郷 地域ケア課 永田 宮本 高品

TEL079-662-8456

確かにせやけど

声：行政職（AIが作成）

ああ、もうほんとにね、行政の立場で介護人材の確保に取り組んでると、理想と現実のギャップに毎日ため息しか出ないよ。国からは「地域包括ケアを推進しろ」「介護人材を確保しろ」「離職率を下げろ」って次々に指示が降ってくるけど、現場の実情を見てると、そんな簡単にいくわけないでしょって言いたくなる。

まず、予算が足りない。補助金や助成金の枠はあるけど、申請のハードルが高すぎて、現場の事業者が「もういいや」って諦めちゃうケースも多い。制度を作る側は「公平性」とか「透明性」とか言うけど、現場からしたら「書類地獄」なんだよね。しかも、ちょっとでもミスがあれば返還だの指導だの…そりゃあ、やる気も削がれるよ。

あと、事業者からの相談も多い。「人が集まらない」「外国人材を受け入れたいけど手続きが複雑」「研修制度が追いつかない」って、毎日のように電話やメールが来る。でも、こっちも人手が足りないし、制度の変更も頻繁で、正直、追いつけてない。国の方針が変わるたびに説明会や資料作成に追われて、現場支援に手が回らないこともある。

そして、議会や住民からは「なぜ人材が足りないのか」「なぜサービスが行き届かないのか」って責められる。いや、こっちが聞きたいよ！って思うこともあるけど、言えない。行政職員だから。冷静に、丁寧に、誠実に対応しなきゃいけない。

これから、どんどん働き世代も減ってくるって聞くし・・・

…はあ、ちょっと吐き出せてよかった。あなたも行政の立場？それとも現場？どっちにしても、介護の世界って、ほんとに根が深いよね。

えっと、でも…もっと良くしたいっすね

人が集まる介護現場へ

～業務の生産性向上と情報発信のススメ～

1 情報提供 2040年を見据えた介護人材確保の考え方

2 実践発表

- ・豊岡市社会福祉協議会 在宅福祉課 課長 貴田 由香 氏
【通所介護で取り組むノーリフティングケア】
- ・養父市社会福祉協議会障害者相談支援事業所 管理者 佐々木 千代里 氏
【訪問介護×ICTによる業務負担の軽減】
- ・社会福祉法人関寿会 特別養護老人ホームはちぶせの里 生活相談員 西谷 文吾 氏
【もっと身近に！SNSで変わる介護施設と地域の関係（仮）】

日時・場所：令和7年9月1日（月）13：30～15：30（開場13：00）但馬長寿の郷郷ホール

対象・参加人数：介護現場管理者・職員、人材確保に関わる人 50名（参加費無料）

裏面申込用紙で申し込む（8月22日締め切り）

【問い合わせ先】

但馬長寿の郷 地域ケア課 永田 宮本 高品

TEL079-662-8456